



(写)

交 企 秘 第 41 号
令 和 7 年 7 月 17 日

北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会
代表 大阪府知事 吉村 洋文 様

交野市長 山本 景



北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会の
開催及び代表の発言への抗議について

リニア中央新幹線に係るトンネル工事の影響により、生活用井戸等の水位低下等が生じております。交野市の水道水源の約8割が地下水であり、北陸新幹線事業におけるトンネル工事により、水道水源である地下水の枯渇や減水が生じる可能性を深く憂慮しています。なぜならば、地下水なくして、7万7000人の交野市民は生活できないからです。

そのため、交野市は事業主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備機構に対し、詳細ルート決定までに水道水源である地下水の枯渇や減水が生じないか調査するよう求め、現在、同機構による調査が進められています。水道水源である地下水の枯渇や減水が生じないかの確認の最中、北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会が開催されることは、交野市として容認できません。

また、北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会にて交野市の主張を伝えたいと申しましたところ、昨年度、大阪府は拒否したにもかかわらず、報道機関に「申し入れを断ったという認識はなかった」と答えました。今年度、改めて交野市の主張を伝えたいと伝えましたところ、また拒否されました。さらに、代表におかれては、令和7年6月21日に「他のルートも比較、検討した方がいい」と発言する等言動の不一致がみられ、交野市は困惑しております。

こうした状況を交野市としては看過できないことから、北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会の開催及び代表に対して強く抗議します。